

A:できている B:どちらともいえない C:できていない

		評 価		
評価項目	評価の観点	A	B	C
学習および諸活動の充実により、主体的、自律的に取り組む意識と態度を育成する。	クラブ活動や生徒会活動等の諸活動で、生徒の主体的、自律的な活動を適切に支援できたか。	71.4%	23.8%	4.8%
	進路指導方針を共有し教科間連携による効果的な学習指導ができたか。	52.4%	28.6%	19.0%
	職員の研修、スキルアップに努めたか。	52.4%	38.1%	9.5%
学び意欲の喚起と学力向上に向けて、ICTの効果的な活用を含めた授業研究・授業改善を推進する。	学習の定着と学力向上に向けた研究、進路実現に応じた教科授業ができたか。	42.9%	42.9%	14.3%
地域と関わり、つながる学びの充実を図り、生徒が自分の良さや可能性に気付くとともに、自らを高め、よりよい社会を創造するための資質・能力を育成する。	学校公開・体験入学の実施やホームページの充実等により地域の方々に本校の目標や育てたい生徒像を周知できたか。	47.6%	38.1%	14.3%
	ボランティア等地域の中に本校生徒の活躍の場を見出す支援ができたか。	66.7%	23.8%	9.5%
	探究の学びを通じて、自分の住んでいる地域を知り、地域の課題に目を向けて地域行事や催し物への参加に取り組むことができるよう、指導することができたか。	51.7%	28.6%	14.3%
	地域支援ボランティアや地域人材の活用を推進できたか。	38.1%	42.9%	19.0%
	生徒会活動やボランティア活動を通じて、地域の方々をはじめとした他者とのつながりを大切にし、生徒が主体的に活動に参加できるような支援ができたか。	61.9%	23.8%	14.3%
生徒の「行きたい」進路の実現に向けたキャリア教育を推進する。	生徒の希望進路に関する情報を職員間で共有し、進路指導に活用できたか。	47.6%	52.4%	0.0%
	キャリア教育を通して現在の自分について分析し、自分の進路について考える機会を設けることができたか。	57.1%	38.1%	4.8%
一人ひとりの人権が尊重され、いじめや体罰のない安心で安全な学校づくりを推進する。	いじめ・体罰や非遵行為に関するアンケート調査・聞き取りの実施等対応をすることができたか。	85.7%	14.3%	0.0%
	いじめや体罰、非遵行為などを早期発見し未然防止に繋げることができたか。	47.6%	42.9%	9.5%
	「いじめ」について考えたり、自ら考えて行動し他者への思いやり等人権感覚を育む教育活動、多様性を尊重する人権教育を推進することができたか。	61.9%	28.6%	9.5%
	アンケート結果の分析から生徒の心の状態を把握し、早期発見・未然防止のため職員間の情報共有ができたか。	85.7%	14.3%	0.0%
	危機管理マニュアルに沿った指導・対応をすることができたか。	53.8%	46.2%	0.0%